

# ふくい音楽文化の創造と発信拠点 ～ハーモニーホールふくい～

所在地	福井市今市町40-1-1		
設置年月日	平成9年9月20日		
施設の種類	音楽ホール	施設管理主体	(財)福井県文化振興事業団
設置の目的	本県における音楽文化の振興を図り、県民の芸術文化の向上に寄与する。		
概要 (構造、面積、主な機能)	鉄骨鉄筋コンクリート造、地上3階、地下1階、延11,649㎡ 大ホール(1456席)、小ホール(610席)、練習室(6室)、インフォメーションセンター、 展示ギャラリー		
職員数	常勤職員9人(県派遣5人)、非常勤嘱託5人 アルバイト1人 計15人		

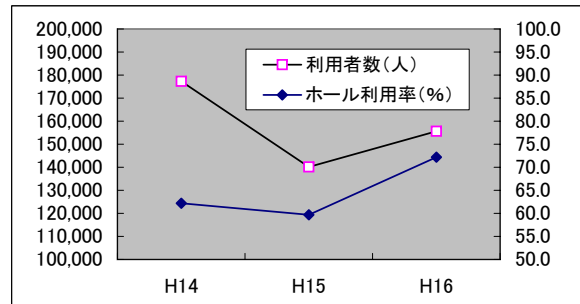
## 利用状況等

	H14	H15	H16
利用者数(人)	177,307	140,121	155,610
ホール利用率(%)	62.2	59.7	72.2

## 利用者負担(利用料金)等

施設使用料	大ホール(休日午後)	58,000円
	小ホール(休日午後)	32,000円
	練習室G(平日夜間)	870円

(施設HPの施設概要参照)



利用状況の推移	<p>平成14年度は開館5周年記念の記念事業等により大幅に利用者が増加しました。平成15年度はパイプオルガン設置工事を行うため、下半期に大ホールを閉鎖したため、入館者が落ち込んでいます。</p> <p>平成16年度はパイプオルガンを活用した公演等の実施により、開館者が再び増加するとともに、ホール利用率も上昇しています。</p>
---------	--

## 16年度の特徴について

事業実績	<p>県民の音楽活動の発表の場および練習の場として、県民にホール、練習室を開放しており、年間のべ約16万人が利用しました。特に6室ある練習室は、従来から県内の音楽愛好者や団体等により頻繁に利用されており、利用率はほぼ100%です。</p> <p>また、大ホールが平成15年度にパイプオルガンの設置が完了したこともあり、利用率82.9%と過去最高となりました。</p> <p>施設管理主体である(財)福井県文化振興事業団により、世界のトップレベルのオーケストラ等のコンサートをはじめ、県内音楽愛好者や本県出身の著名アーティストが出演するもの等多彩な公演が年間を通じて実施されました。16年度は、人気の高い「東京フィルハーモニー交響楽団」や「レーゲンスブルク大聖堂少年合唱団」、「音楽堂バレイくるみ割り人形」等7公演で、チケットが完売し、多数の来場者を集めました。</p> <p>パイプオルガンを利用した「ジェームス・オドンネル オルガンリサイタル」や「松居直美ふるさとの日コンサート」などの公演を開催したほか、演奏家や指導者を対象としたオルガニスト養成講座や、気軽にパイプオルガンを体験できる「夏休みオルガン体験ツアー」などパイプオルガンを積極的に活用した事業を展開しました。</p>
------	---

## パイプオルガンの活用

(公演)入場者 述べ5,791名 平均入場率 86.4%

5月8日 ジェームス・オドンネル オルガンお披露目リサイタル

5月9日 チョン・ミンフン指揮 東京フィルハーモニー交響楽団

7月24日 レーゲンスブルク大聖堂少年合唱団「パイプオルガンと奏でる天空の響き」

10月1日 マリー＝クレール・アラン リサイタル

2月6日 ふるさとの日記念コンサート(パイプオルガン/松居直美)

(普及啓発事業) 入場者 述べ2,324名

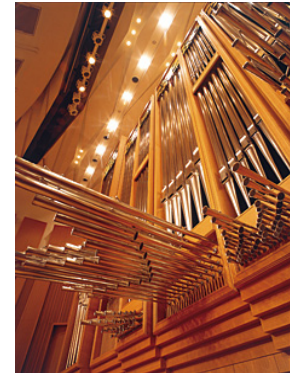
・オルガン見聞「はじめの一歩」(6/5、9/23、11/3)

・ワンコインオルガンミニコンサート(10/9、11/21)

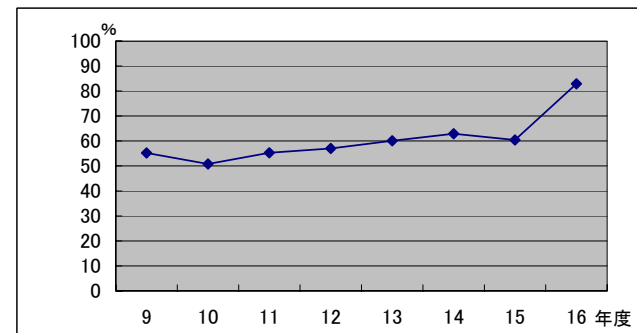
・春休み&夏休みオルガン体験ツアー(8/29、3/21)

(セミナー) 受講者5名

・オルガニスト養成講座(7/10~11、8/12~14、9/23~24、10/28~29)



## 大ホール利用率の推移



# 福井県立音楽堂(2/2)

行政コスト計算書(平成16年度) (単位 千円)

		総額	構成比	前年比
人にかかるコスト	人件費	0	0.0%	0.0%
	退職給与引当金繰入	1,544	0.2%	56.1%
	計	1,544	0.2%	1.9%
物にかかるコスト	物件費	271,927	42.7%	147.9%
	維持補修費	8,377	1.3%	124.8%
	減価償却費	227,140	35.7%	100.0%
	計	507,444	79.7%	121.5%
その他	公債費(利子)	127,971	20.1%	86.9%
	その他	0	0.0%	0.0%
	計	127,971	20.1%	86.7%
合計		636,959	100.0%	98.5%

※他に音楽堂事業補助金 107,713千円あり

(単位 千円)

収入				
	利用料等収入	40,380	6.3%	131.0%
	その他収入	10,136	1.6%	256.4%
	一般財源	586,443	92.1%	95.8%

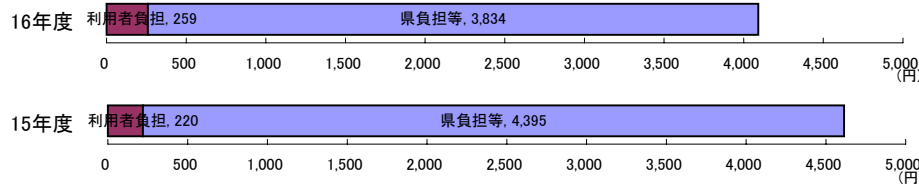
バランスシート(平成17年3月31日現在) (単位 千円)

借方			貸方		
資産		前年比	負債		前年比
有形固定資産	14,668,995	98%	固定負債	1,862,484	68%
投資等	600	112%	流動負債	874,884	66%
流動資産	0	—	正味資産	11,932,227	110%
計	14,669,595	98%	計	14,669,595	98%

(前年比)

利用料等収入計	40,380,000 円	131%
利用者1人あたり平均利用料	259 円	118%
利用者1人あたりコスト	4,093 円	89%

利用者1人あたりのコスト負担の状況



バランスシート、行政コスト計算書の特徴

- ・財団法人福井県文化振興事業団への管理委託を行っているため、人件費や維持補修費等については、県の委託料としてすべて物件費に計上しています。
- ・施設利用料は前年比31%増となっていますが、平成15年度下半期にパイプオルガン設置工事のため、大ホールを閉鎖した影響と考えられます。



**施設の特徴** 北陸初の音楽専用ホールとして開館後、世界の超一流のオーケストラの公演が実施されるとともに、その優れた音響性能についてもアーティストの評価も高いなど、国内有数のホールとして高い評価を受けています。  
一流演奏家を招いた公演以外にも、県内音楽家や本県出身の著名アーティストが出演するものなど、県民が音楽を身近に感じることができる多彩な公演が実施されており、県民の音楽に触れる機会が増加しました。  
全国から受講生を集め、楽器ごとに隔年で実施されているハーブ・マリンバのマスターコース(上級セミナー)は、本県にゆかりの深い両楽器を全国にPRできる絶好の機会となっている。また、平成15年度に設置したパイプオルガンを利用したオルガニスト養成講座や、小・中学生が楽器に興味を持つためのきっかけづくりとして、ハーブ・マリンバ・ヴァイオリン・チェロのふれあい教室も開催されています。  
県民の日頃の音楽活動発表の場、練習の場として比較的 low cost で利用でき、県内の音楽レベルの向上に寄与しています。

**今後の課題** 平成18年度からの指定管理者制度導入後は、指定管理者と緊密に連携・協力し、利用者サービスの向上を図るとともに、利用者ニーズに応えた公演内容の充実を図ります。

**今後の事業方針** パイプオルガン設置により、演奏可能な音楽の幅が広がったことから、これを積極的に活用し、県内の音楽文化の更なる振興を図ります。  
音楽演奏を中心とした講演会やシンポジウム等での利用を広く呼びかけ、新たな利用者を開拓するとともに、ホール利用率の向上を図ります。

**取組み内容** 県民に魅力のある公演を継続して実施できるよう、また、普段、芸術音楽になじみの薄い県民や子供たちにも興味を持ってもらえるよう公演企画の充実を努めます。